

4. 簡素化の内容

簡素化内容の一覧〈目次〉

番号	内 容		
①	押印廃止	P7上	会社及び技術者等の押印廃止
②	コリンズ登録	P7下	発注者のデータを入力すれば、発注者への提示や提出は不要
③	施工計画書(1)	P8上	施工計画書は、施工方法が確定した段階で提出
④	施工計画書(2)	P8下	施工計画書の「工事内容」は、金抜き設計書を使用してよい
⑤	施工計画書(3)	P9上	維持工事等の簡易な工事や災害復旧の応急工事など緊急を要する工事は施工計画書(簡易版)として一部省略可
⑥	施工計画書(4)	P9下	①工事内容の軽微な変更は、変更施工計画書の提出は不要 ②当初の施工計画書と合わせた全体版の作成は不要
⑦	施工体制台帳	P10上	作成対象は建設業のみ。資材業者等は記載義務無し。
⑧	工事打合せ簿	P10下	工事打合せ簿(協議)は事実が確認できる資料のみ
⑨	材料使用承認願	P11上	再生切込砕石で「かごしま認定リサイクル製品」を使用する場合は、「認定証」を提示するのみ
⑩	品質証明	P11下	品質証明書の添付書類は提出不要
⑪	段階確認・立会	P12上	監督職員等が臨場する場合、確認状況写真の撮影は不要
⑫	休日・夜間作業届	P12下	休日・夜間作業届出は、口答、電子メール等による連絡でよい
⑬	パトロール	P13上	年末・年始など長期休暇時の現場パトロールは不要
⑭	安全・訓練の報告	P13下	安全・訓練等の実施状況報告書は、完成書類に含めての提出でよい
⑮	工程能力図	P14上	出来形管理の測定点が10点未満の工種は工程能力図は不要
⑯	工事写真(1)	P14下	使用材料写真のJIS製品・協会製品は、規格とマークの写真のみでよい
⑰	工事写真(2)	P15上	産業廃棄物の運搬状況写真と運搬車両の両側面へのステッカー表示確認の写真は不要
⑱	工事完成書類	P15下	書類の見栄えが工事成績評価に影響することはありません

鹿児島県

[illegible]

- ・パソコンで名前を入力する記名や署名
- ・押印いづれでもOK

2023年
4月1日
から

請求書等への押印を省略する
ことができるようになりました！



鹿児島県では、会計処理の効率化等を図るため、事業者の皆様から提出いただく請求書等の会計書類について押印を省略し、一部書類を除き電子メール等でも提出できるようになりました。
なお、押印して提出する場合の取扱いは、従来どおりです。

押印を省略できる書類

請求書・見積書・請書・納品書・委任状・入札書

真正性を担保するため、以下のとおり、提出書類へ必要事項の記載
や本人確認が必要になりますのでご協力ください。

請求書・見積書・請書

提出書類に「発行責任者及び担当者」の役職・氏名（フルネーム）及び連絡先（原則、固定電話番号）を記載してください。

入札書・委任状

入札会場において、顔写付付きの公約身分証明書による本人確認を行うため、ご参加者には入札の機会に、ご自身の本人確認用写真（白黒）を提出していただきます。

※ 入札によっては押印を省略していない場合がありますので、詳細は指名通知書でご確認ください。

※ 入札以外の押印を委任する委任状を提出する場合は、委任事項により押印を省略できない場合がありますので、詳細は各契約担当部署にお問い合わせください。

提出方法
電子メールやFAX、郵送や手渡しで受け付けます。（電子メールの場合は、PDF形式のみ。）

④ 入札書及び入札に係る代理委任状については、入札会編への紙による持参の
とし直す。

2023年4月1日以降に作成・提出するもの
※ 納品書については、2021年4月1日に押印を廃止済みです。

●ご不明な点は各課

Page 10 of 10

出は不要



資料二の

受

© 2006 The Authors
Journal compilation © 2006 Blackwell Publishing Ltd

「事前確認×」
「送付完了連絡」



A

登録内容確認」
し

鹿児島県



③ 施工計画書(1)

施工計画書は施工方法が確定した段階で提出すればよい

※ 災害対応,概算数量発注であって当初契約と実際の施工方法が合わない場合は,施工方法が決定してから施工計画書を作成し提出してよい。

※ ただし,特記仕様書に定めがある場合は,着手までに提出必要。



提出

〇〇〇〇
交付金工事
施工計画書
令和〇年〇月
〇日



【土木工事共通仕様書 1-1-1-4 施工計画書】

1.一般事項

受注者は工事着手前又は施工方法が確定した時期に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

受注者は,施工計画書を遵守し工事の施工にあたらなければならない。

この場合,受注者は,施工計画書に以下の事項について記載しなければならない。また,監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には,追記するものとする。ただし,受注者は維持工事等簡易な工事や災害復旧の応急工事など緊急を要する工事においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

【土木工事共通仕様書 1-1-1-8 工事着手】

受注者は,特記仕様書に工事に着手すべき期日について定めがある場合には,その期日までに工事着手しなければならない。

④ 施工計画書(2)

施工計画書の「工事内容」は,金抜き設計書を使用してよい

※ 別途に表の作成は不要



(記載例)

工 事 概 要					
工 事 名	〇〇工事				
河川または路線名	一般国道〇〇〇号				
工 事 場 所	〇〇市〇地先～〇〇市〇地先				
請 負 代 金	〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円				
契 約 年 月 日	平成〇年〇月〇日				
工 期	自平成〇年〇月〇日～至平成〇年〇月〇日				
発 注 者	〇〇地域振興局 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇				
請 負 者	〇〇建設株式会社 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇				
	所在地 〇〇県〇〇市〇〇-〇〇〇				
	〇〇作業所 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇				
	所在地 〇〇県〇〇市〇〇-〇〇〇				

(記載例)

工 事 概 要					
工 事 名	〇〇工事				
河川または路線名	一般国道〇〇〇号				
工 事 場 所	〇〇市〇地先～〇〇市〇地先				
請 負 代 金	〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円				
契 約 年 月 日	平成〇年〇月〇日				
工 期	自平成〇年〇月〇日～至平成〇年〇月〇日				
発 注 者	〇〇地域振興局 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇				
請 負 者	〇〇建設株式会社 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇				
	所在地 〇〇県〇〇市〇〇-〇〇〇				
	〇〇作業所 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇				
	所在地 〇〇県〇〇市〇〇-〇〇〇				

工 事 内 容					
工事区分	工種	種別	細別	単位	数量
道路改良	土工			式	1
	基礎工	既製杭工	鋼管杭打設	本	23
	擁壁工	1号擁壁工		m	40
		2号擁壁工		m	25
		ブロック横工		m ²	200
	路盤工	下層路盤工		m ²	700
		上層路盤工		m ²	700
	舗装工	表層工		m ²	700
	仮設工			式	1

本 工 事 費 内 訳 表					
費目	単価	数量	金額	税別	税別
基本工事費					1,000
材料費					120,000
労務費					120,000
機械費					120,000
管理費					120,000
安全費					120,000
その他					120,000
合計					1,000